

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立東葛西小学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	70.0%	70.0%
令和 7 年度の目標	70.0%	70.0%
令和 6 年度の結果	62.1%	53.5%
令和 5 年度の結果	56.8%	56.8%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	57.4%	46.6%
第 5 学年	49.5%	41.4%
第 4 学年	45.5%	45.6%
第 3 学年	54.8%	53.0%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・「東葛西小スタンダード」を設定して、全教員の基本的な学習指導の土台を整える。 ・研修授業として、全教員が年に 1 回ずつ公開授業を行い、授業力の向上を図る。 ・全学年で校内研究を実施し、指導案検討、模擬授業、授業観察、協議会を設定する。	・算数九九検定または百マス計算検定を 2 年生以上の全児童に実施する。合格した児童には認定証・表彰状を授与する。 ・漢字まとめテストを年 3 回実施する。合格した児童には表彰状を授与する。 ・毎週金曜日に放課後補習日を設定する。	・「宿題キャンペーン」を年 3 回実施する。 ・「読書カード」を全校で配布し、学年ごとに目標値を設定する。到達した児童には認定証を授与する。 ・週に 2 日程度、朝学習の時間を設定し、「よむYOMUワークシート」やドリルパークの課題に取り組む。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・年度初めの生活指導連絡会において、全校で児童の共通理解を図ったうえで、担任以外も指導を行えるようにする。 ・家庭と密に連絡を取り、保護者と連携して個別の支援方法を提案する。	・各テスト、検定の不合格者への指導を放課後補習日や放課後補習事業者と協同して行う。 ・ドリルパークで苦手分野の反復練習を実施する。	・家庭学習の取り組み状況を毎日必ず確認する。 ・家庭で進められなかった宿題について、毎週の放課後補習日に担任と一緒にやる。
成果指標	・江戸川区学力調査 「難しい問題でも、いろいろな考えや解き方を試したり、工夫したりしている」→肯定的な回答：80%以上 ・全国学力、学習状況調査 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましたか」→肯定的な回答：80%以上	・校内学力定着度テスト（国語・算数） 各学級における 70% 正答者の割合 →1, 2 年生：80%以上 ・江戸川区学力調査（国語・算数） 区を母集団としたとき →3～6 年生：A B 層の割合 70%以上	・全国学力、学習状況調査 「授業以外の勉強時間」 →1 時間以上の回答割合：85%以上 ・家庭学習達成率 →100%達成児童の割合：80%以上